

No.18 キーワード：側条施肥、無人ヘリ

千葉県A市

基本情報

- 気候 年間平均気温15.7℃
年間降水量 1,390mm
- 土質 河川沖積土
- 従事人数 13人(自家4常雇9)
- 臨時雇用 なし
- 飼料用米の作付開始：H26年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	137ha	70a
主食用米(直播)	11ha	100a
飼料用米(移植)	7ha	150a
麦類	35ha	150a
大豆	10ha	100a



乾田直播栽培の播種作業

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 耕作放棄地を活用した大区画圃場の活用の下、利根川遊水池の水田を活用した米・麦・大豆栽培
- 堆肥を施用し、化学肥料や農薬を極力減らした安全でおいしいお米づくりとともに、籾貯蔵による年間を通じたおいしいお米の提供
- 乾田直播・湛水直播・プール育苗等の低コスト技術を導入する一方で、ちばエコ農業等の環境にやさしい農業技術も導入

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料
 - ①元肥の田植え同時処理(側条施肥)による減肥(10%程度)及び省力化
 - ②堆肥の利用(1.5t/10a施用：化学肥料窒素成分4.5kg以内の施肥)
 - ③ 鶏糞の利用(150kg/10a：飼料用米元肥窒素成分9kg→6kgへ)
 - ④ペースト肥料を粒状肥料へ変更及び粒状肥料の一括購入による単価低下(2,400円→1,200円/20kg)
- 農薬
 - 除草剤の田植同時処理による省力化
- 農業機械
 - ①大型機械による作業の効率化(乾田直播種栽培)
 - ②無人ヘリコプターによる除草剤散布、病害虫防除、施肥の実施(30a当たり作業時間：防除、除草剤散布-ヘリ5分〔人力散布の場合15分〕、施肥-ヘリ5分、〔人力散布の場合20分〕)

導入効果

- 施肥
 - 肥料費▲約5割
 - 〔肥料代3,894円/10a
 - (県平均7,113円の54.7%)〕
- 防除
 - 農薬費▲約1割
 - 〔薬剤費4,946円/10a
 - (県平均5,414円の91.4%)〕

支援体制

- 県試験研究機関や農業事務所による乾田直播、プール育苗等の省力化技術の導入支援
- 耕作放棄地の再生利用にかかる支援(A市)
- 農機具、肥料、農薬メーカーによる技術支援

課題・今後の目標

- 多収性品種導入に伴う多肥栽培への対応(肥料費節減と地力の維持)
- 大区画化に伴う水管理の徹底
- ICTの活用(作業の見える化)
- GPSを利用した高精度作業の導入(均平作業、代かき、田植え、防除)